

師走によせて

「忙しい」という字は「心」を「亡くす」と書く。そして、この「亡くす」と「心」を縦に重ねると「忘れる」という字になる。(『ニューモラル』第639号より、一部省略等がある。)

師走と呼ばれるこの時期、忙しさに追われて余裕を失いがちですが、子どもたちは澄んだ目で物事を見て、素敵な情報を届けてくれます。先日も、1年生の児童が大きな銀杏の葉を拾って見せにきてくれました。「うさぎの耳みたいで可愛い。」その純粋な感性に、心が温かくなりました。心にゆとりをもち、人に対する思いやりや感謝の気持ちを忘れないようにしたいものです。



【食育パワーアップ作戦】2年生

①12月8日(木)

8日(木)給食の時間に、石井町立給食センターの学校給食栄養士 大西先生のお話を聞きました。冬の野菜は栄養がぎゅっと詰まっていて体にいいので、しっかり食べてほしいということでした。

この日のメニューは、「ごはん・焼肉風野菜炒め・春巻き・中華和え・牛乳」でした。2年生の子どもたちは、いつもより多く野菜を口に運んでいました。

②12月13日(火)

13日(火)6校時に、大西先生と一緒に野菜についての勉強をしました。自分の好きな野菜とその理由を発表したり、苦手な野菜が給食に出ても、がんばってできるだけ食べていることを伝え合ったりしました。



【フードドライブ活動】5年生

弊紙第19号で紹介したように、フードロスについて学んだ5年生は、自分たちができることを考え、ポスターを描き、フードドライブ活動に取り組みました。

11月26日、石井町教育委員会・石井町公民館藍畑分館・高畑郵便局・藍畑幼稚園・ミニストップ石井藍畑店・フジグラン石井店にお願いし、ポスターを掲示して、食品を寄付していただくカゴを設置しました。学校でも、他学年の子どもたちや教職員に寄付を呼びかけました。



【フードバンク贈呈式】5年生

12月14日(水)5校時に、徳島子ども食堂ネットワークの八田様、コロコロおばちゃんの家から宮内様・有井様をお迎えして、フードドライブ活動で集まった食品を贈呈しました。ポスターの掲示・カゴの設置にご協力いただいた機関・事業所及び食品を寄付して下さった保護者・地域のみなさまに、心から感謝申し上げます。

5年生の児童は、自分たちもおやつの中から一つ寄付するなど、貧困の問題を自分ごととして捉え、真剣に考える機会となりました。



藍畑小教育

□ 学校教育目標

『心豊かで、たくましい子どもの育成』-自ら気づき、考え、実行できる子どもの育成-

□ めざす児童像

「あ」 あいさつをする子
「は」 はげましあってがんばる子

「い」 いじめをしないやさしい子
「た」 たくましい子